

未来に向けて考え続け、よりよい社会を切り拓く子供が育つ授業の創造

—見方・考え方を働かせて、社会に対する認識と判断する力を育む単元構想と授業展開—

徳島市国府小学校 教諭 黒田 絵巳子

1 主題について

本研究でめざす子供像は、社会的事象の意味や特色が分かる子供、根拠をもって選んだり主張したりする力を身につける子供、未来に向けて考え続けよりよい社会を切り拓いていく子供である。そのため単元の中で、子供の意識をつなげ、認識と判断をバランスよく育む学習をめざす。本単元は、歴史学習後、これまで学習してきた人物の業績や今に残る文化遺産、現代社会とのつながりを考えることで、「歴史を学ぶ意味」も考える学習である。その過程の中で歴史を振り返り、日本の良さや「凄い」ところ、今も日本に残る課題も見つけ出し、見方・考え方を働かせて、先人の努力によって築かれた歴史の上に自分たちが存在すること、自分たちが新しい歴史を築き上げていくことにも気付かせたいと考えた。歴史学習から学んだ事と自分たちの暮らしや現代社会とのつながりを考えることは、未来に向けて考え続け、自分たちが生きる社会を大切に、さらには国を愛することにもつながる。未来の社会を担う子供たちにとって意義のある学習になるよう、本研究を進めることにした。

2 研究の仮説

(1) 単元構想の工夫

政治単元、歴史単元が終わり、特設的な単元「歴史から学ぶもの」を設けることで、次の国際理解単元へと子供たちの意識がつながるような授業展開ができるのではないかと。

(2) 判断場面の工夫

学習問題に焦点化する問いかけをすることで、歴史の見方・考え方を働かせ根拠をもって判断できるようになり、子供たちが歴史学習を通して獲得し積み重ねてきた「社会に対する認識」をさらに深めていくことや「判断する力」を高めていくことにつながるのではないかと。

(3) 子供の意識をつなげる振り返りの工夫

毎時間、振り返りを書く場面を設定することで、子供の意識を次時や更なる歴史学習、中学校での学びへとつなぐことができるのではないかと。

3 研究の実際

(1) 単元の目標

- 国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について理解するとともに、資料や年表などの基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けることができるようにする。
- 出来事や人物の関連や意味を多角的に考える力、その時代の社会に見られる課題を把握して歴史を学ぶ意味を考える力、考えたことを説明したり議論したりする力を養うことができるようにする。
- 日本の政治や社会について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、日本の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養う。

(2) 展開の概要(6時間) □・・・学習課題 □・・・本時のめあて ◆・・・主な評価 ◇・・・指導や支援 ☆・・・判断場面

段階	活動と主な評価	子供の意識の流れ
問題を つかむ	①歴史学習をふり返り、未来に残していきたいものを考え、学習問題をつくろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの時代にも立派だった人がいるなあ。 ・どの建物にも、その時代の人々の思いや願いが込められている。 ・未来に残したいものがたくさんあるなあ。 ・歴史学習で学んだ事は全て大切で、今につながっている。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分たちは、どうして歴史を学ぶのだろう </div>		
予想を 立てる 調べ方を 決める	②学習問題について予想し、学習計画を立てよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習したノートを見よう。 ・政治はどんな風が変わってきたのだろう。 ・今に残る文化はいつから始まったのかな。 ・歴史学習では、何を中心に学習してきたのか整理しよう。

調べたしかめる	<p>③歴史上の出来事や文化財・伝統と今の自分たちの暮らしのつながりについて調べよう。</p> <p>(判断場面) ☆「ここがすごいぞ！日本！！」というところを考えよう</p> <p>④現在、今もなお日本に残されている課題について調べよう。</p> <p>(判断場面) ☆「ここがまだまだ課題だ！日本！！」というところを考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国統一しようとした戦国時代の武将の考えは、今の世の中につながっている。 ・いつの時代も国の中の戦いや外国との戦争があって、今の平和につながっているね。 ・時代によって人々の様子や政治の仕方が変化し、どの時代も新しい世の中をめざしている。 ・戦争によって友好関係がくずれた国とも関係を修復しているところがすごい。 ・北方領土問題や沖縄のアメリカ基地問題など、まだまだ解決できていないことも多いね。 ・新型コロナウイルスの件でも、外国と協力して感染拡大を防いでいかななくてはいけない。 ・北朝鮮との友好関係を築き、拉致問題の解決を急がなくてはならない。
みんなで考え話し合う	日本の未来は、どんな社会であってほしいか考えよう	
	<p>⑤日本の未来がどんな社会であってほしいかを話し合うことで、自分たちがなぜ歴史を学ぶのかを考えよう。</p> <p>◇今までに学習してきたことをもとに、根拠を明確にして自分の考えが主張できるようにする。</p> <p>◇過去の歴史を学ぶことは、現在の社会を考えることや未来にもつながっていくということ、現在の課題を解決しなければ自分たちが考える明るい未来にはつながらないのだということも捉えられるようにする。</p> <p>◆歴史から学んだことを自分たちの暮らしや社会と関連付けて表現している。(判断場面) (思・判・表) ☆自分が暮らす日本の未来はどんな社会であってほしいか考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争や争いがない、平和な社会であってほしい。 ・人々が助け合い、自分の意見が言いやすく、発言も通る民主的な社会であってほしい。 ・誰もが大切にされ、差別がない平等な社会がいい。 ・外国の国とも友好的な関係を築いていってほしい。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じあやまちを繰り返さないために。 ・歴史を今現在に、そして未来に生かすために。 ・これから日本が解決していかなければいけない課題を見つけるために。→歴史を学ぶ(学習して分かったこと・考えたこと) ・改めて日本のことを考えて、自分たちが大人になって社会をつくっていくのだと思った。今からでも、自分の身のまわりのできることをし、未来に向かって努力したい。 ・どの時代にも大切にされてきたものがある。それを知り、守ることが自分たちの使命だ。 ・社会の一員として国の発展に貢献したい。 ・安心できる未来をつくりたい。日本の国が今よりいい国や社会になるよう、自分ができることをしていきたい。
広げ深める	<p>⑥今後、自分が大切にしていきたいことを自分なりに意見文にまとめ、発表しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争は絶対によくない。平和を守るために、今の自分のできることをしたい。 ・日本の伝統や環境をきちんと自分たちが守っていききたい。 ・外国の人とも友好的にしていきたい。 ・国民の一人として、18歳になったら選挙に行き、政治に関心を持ちたい。自分ができることはたくさんある。 ・日本の国にはいいところも課題もある。いいところは大切にし、改善すべきところは選挙に行き、政治に参加することで自分の意見を出していきたい。

4 研究のまとめ

(1) 成果

- 単元の構造図や指導計画を作成し単元全体を見通すことで、「学習したことが次の学習にどうつながるか」など、単元のつながりを意識した学習を構想することができた。グループで話し合っ考えた日本の「凄い」ところや課題などを短冊で可視化し、子供たちの意識の流れを共有し、次単元へ意識をつなげることができた。
- 授業の中に判断場面を設定することで、歴史学習で学んだ認識が根拠となり、認識の深まりと判断する力の高まりにつながった。そして、日本の未来をどんな社会にしていけるべきか、よりよい社会にするために自分たちがどんなことをすべきか、どんなことを学んでいくべきかを考え、更なる認識へとつなぐことができた。
- 毎時間振り返りを書くことで、子供の考えを見取り、次時の学習へとつなげることができた。授業の始まりを前時の振り返りから始め、子供たちと意識の流れを共有することで、新たな気づきや発見につながった。子供たちが「日本の国」に更に関心を持ち、これからは、この日本の国のために、自分たちが未来をつくっていききたいとの思いを高めることができた。また、歴史単元学習前と後に同じ問いかけをしておくことで、子供自身も自分の考えがどのように変容したのか見比べることができ、教師も子供の変容を見取ることができた。

(2) 課題

- 単元の初めの段階に、タブレットを活用して効果的に資料を提示することで、より子供たちの学習意欲を引き出し、コンパクトに授業展開を進めることができたのではないかと思った。